令和4年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策

【松江市立

来待小学校

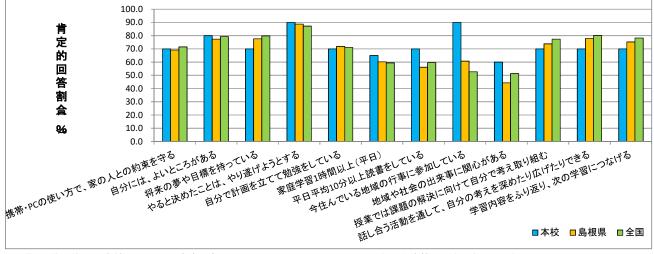
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○既習した漢字を文の中で正しく書くことができる児童が多い。 ●文章全体の構成や展開が明確になっているかなどの観点から感想や意見を伝えるために、条件に合った文章を書くことができる児童が少なく、無回答の児童も多い。 ●話し手が伝えたいことの中心を捉えることが、できにくい。	・新聞記事や短編文章の見出し付けや要約などに継続して取り組み、文章全体を読み取ったり文章に書いてまとめたりする力を伸ばしていく。 ・話合い活動などで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことの中心を捉える力を身に付ける。
算数	○公倍数、円グラフなど、基本的な事柄については理解ができる。 ●計算や数量関係について、理由や処理の仕方を順序立てて説 明・記述することが苦手である。 ●知識・技能や思考力・判断力・表現力が身に付いている児童が多い一方で、十分でない児童の割合が高く、学力差が大きい。	・理由や数の処理の仕方を順序立てて説明する機会を積極的に設けるとともに、グループやペアでの対話を通して説明・表現する機会を増やし、思考力や表現力を高めていく。 ・基礎・基本的な内容については、反復学習を通して身に付くようにしていく。
理科	○水蒸気などの科学的な言葉や概念、実験に使用する器具の名称などを理解している。●実験や観察で得た結果(表やグラフなどの資料)を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもって、その内容を説明したり記述したりすることが難しい。	・観察・実験の結果(表やグラフなどの資料)を基に分析して、解釈したことを、結論の根拠として説明したり書いたりする機会を、ペアやグループ学習を通して多くもつ。 ・観察・実験の結果を、問題の視点から表やグラフに表したり、それを読み取って分析したりする活動を増やす。

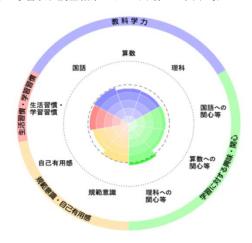
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	●話し合う活動を通じて、考えを深めたり、課題を解決したりするな ど、自分たちで考え取り組んでいくことができにくい。	・キャリア教育を充実させるとともに、地域との連携を図った教育活動に継続して取り組んでいく。 ・授業の中で、学習や活動が何につながっていくのかを繰り返し意味付け・価値付けしながら、目標に向かっていく意欲や課題解決に向けた実践力を高めていく。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・児童自らが問題を見い出し友達と協働して解決していく学習過程 や学習形態を工夫し、児童が主体的で対話的に学びを深めていくこ とができるように授業改善を図っていく。

・国語科においては、言語活動を通して、教材文の読解で学んだことを表現につなげ生かしながら学習に取り組むようにし、読解力と表現力の向上を図っていく。

現力の向上を図っていく。
・ICT教育の推進を図り、個に応じた学習に取り組んだり視覚的な支援を充実させたりする。

【受検者数】

20 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受 検者数をもって表示。